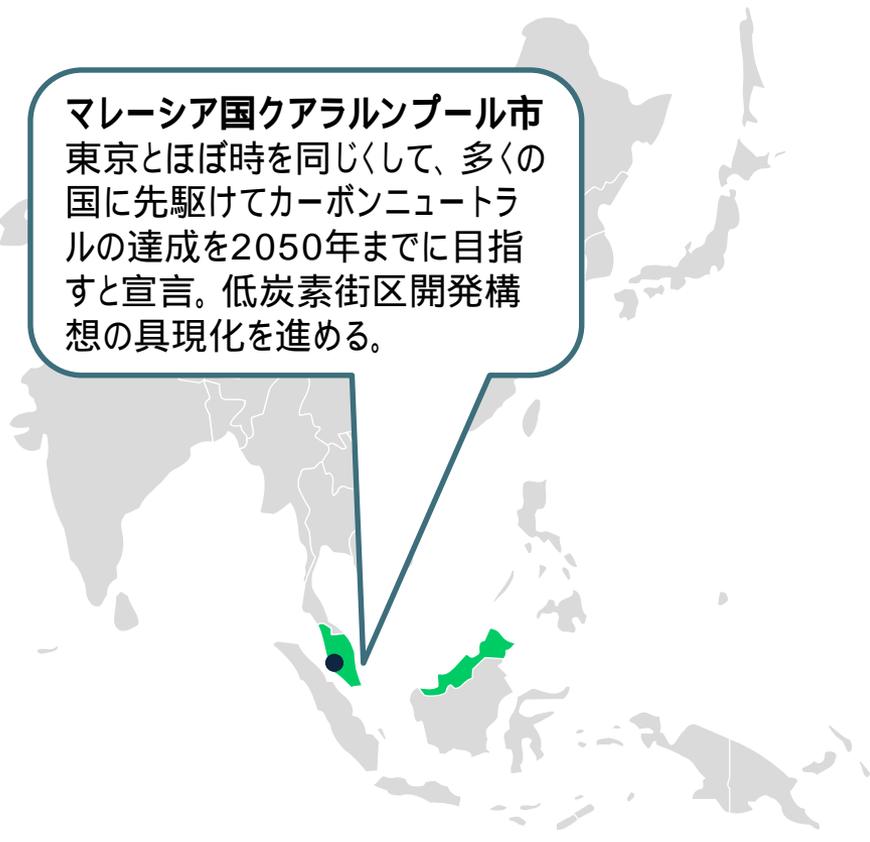
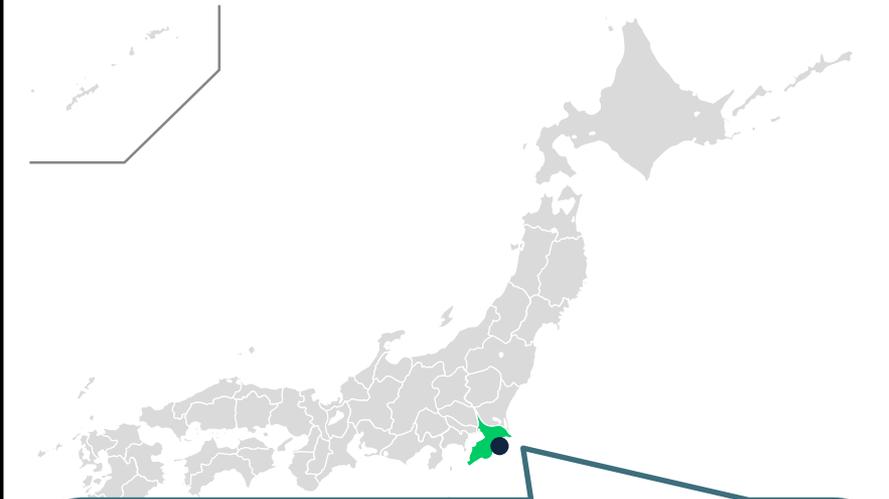


マレーシア国クアラルンプール市-東京都に関する 都市間連携

東京都とクアラルンプール市はアジア都市の国際的ネットワークである「アジア大都市ネットワーク21」の共同提唱都市、またC40（世界大都市気候先導グループ）の東アジア・東南アジア・オセアニア地域（13都市）の加盟都市である。2020年には「持続可能なエネルギー管理」と「脱炭素化」で連携する合意書を締結した。



マレーシア国クアラルンプール市
東京とほぼ時を同じくして、多くの
国に先駆けてカーボンニュートラ
ルの達成を2050年までに目指
すと宣言。低炭素街区開発構
想の具現化を進める。

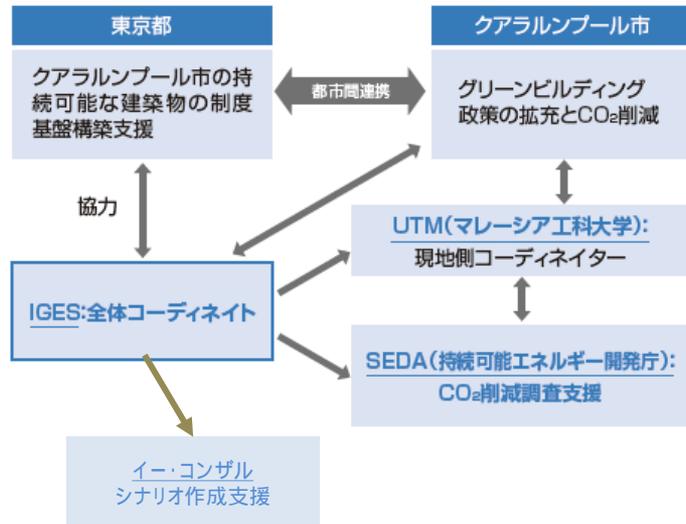


東京都

2050年ゼロ・エミッション戦略を早い時期に発表。また、2030年までに都内の温室効果ガスを半減するカーボンハーフという目標も先頃発表。

世界初の都市型キャップ&トレード制度など、World Green Building Councilから受賞され世界的に評価が高い建物の省エネ性能を上げるノウハウを有す。

マレーシア国クアラルンプール市(KL市)-東京都に関する都市間連携



・活動

キックオフセレモニーの開催 1回
 国際会議での発表 6回 (COP, APUF, 脱炭素都市国際フォーラム等)
 事業関係者の打合せ回数 37回
 渡航回数 クアラルンプール市3回、東京都へ2回
 アジアの他都市への知見共有 回

・成果

事業期間中にはクアラルンプール市が2050年に向けたゼロエミッション戦略を発表した。

クアラルンプール市保有の公共建築物 4 棟の投資改修計画の策定・市独自の予算の確保がなされた。

クアラルンプール市保有の約2000の公共建築物のエネルギー消費実態調査、削減ポテンシャルの推計、優先的に省エネ改修すべき公共建築物の選定、ガイドライン策定等を支援した結果、KL市職員の低炭素型建築物の企画・予算編成能力が向上した。

低炭素街区開発予定地における地元企業との連携開始 など

建物ガイドライン



低炭素街区開発

